「ビジョン提案型デザイン手法」の開発

倉敷芸術科学大学 芸術学部 デザイン学科　柳田　宏治

Keywords: 人間中心設計、サービスデザイン、ものづくり、シナリオ、ペルソナ

１．開発目的

近年、製品・システム・サービスの開発においては、①問題解決型デザインアプローチの限界、②サービスデザインのための手法への期待、③体験や経験（エクスペリエンス）のためのデザイン手法への期待、④ICTの進化への対応、⑤人間を中心としたビジョンを提案する手法への期待などを背景に、新たなデザイン手法が求められている。そこで、日本人間工学会アーゴデザイン部会では、2007年から新たな手法の研究を行い「ビジョン提案型デザイン手法」を開発した。

２．ビジョン提案型デザイン手法

ビジョン提案型デザイン手法は、人間中心設計の観点からこれまでにない新しい製品・システム・サービスを創出するための手法である。本手法のフレームワークを Fig.1 に示す。

Fig. 1 ビジョン提案型デザイン手法のフレームワーク

ビジョン提案型デザイン手法の特徴は次の５点にまとめられる。

① ユーザーの本質的要求から開始する。
② 上位の価値やサービスのレベルから発想する。
③ ユーザーの本質的要求を要求仕様からシステム仕様まで一貫して表現する。
④ 異分野の専科同士のコラボレーションを図る。
⑤ 上位のレベルから常にユーザーに聞く。

３．応用の可能性

本手法は、様々な分野の製品・システム・サービスの開発に活用できる。応用事例は、参考文献に示す書籍にも掲載し紹介している。また、期待される効果としては次の５つがある。

① これまでにない新しい製品・システム・サービスを開発できる。
② 次世代の競争の源泉となる顧客価値を発見でき、活用できる。
③ ビジョンから考え始めることで、結果として開発のスピードアップやコスト削減が図れる。
④ 顧客に喜ばれる製品・システム・サービスの開発が可能になる。
⑤ 次世代に向けたビジネスのベクトルが明確になり企業の経営に寄与する。

参考文献：「エクスペリエンス・ビジョン～ユーザーを見つめてうれしい体験を企画するビジョン提案型デザイン手法」　山崎、上田、郷、高橋、早川、柳田、 丸善出版（2012）

連絡先 TEL: 086-440-1026, FAX: 086-440-1032, E-mail: yanagida@arts.kusa.ac.jp